



2022年5月30日
パナソニック ホールディングス株式会社

2025年日本国際博覧会（大阪・関西万博）への
パビリオン出展コンセプト等について

パナソニック ホールディングス株式会社は、2025年日本国際博覧会（大阪・関西万博）で、“解き放て。こころと からだと じぶんと せかい。”をコンセプトとしたパナソニックグループのパビリオンを出展します。

パナソニックグループの存在意義（パーパス）は、「物と心が共に豊かな理想の社会」の実現です。パビリオンのあるべき姿を検討するにあたり、「物と心が共に豊かな理想の社会」について議論を深めていく中で、様々なモノはココロの持ちようによってその捉え方が変わってくるものであり、モノはココロの写し鏡である、という考えから、「ノモ」という言葉に思い至りました。そして、このパビリオンでの体験の場を「ノモの国」※と名づけました。

※：商標出願中

「ノモの国」では、α世代の子どもたちに、モノもココロも、自分と世界も、ひとつのつながり（Oneness／循環）だと感じてもらい、これまで気づけなかったことに気づくようになる体験をしてもらうことを目指します。

また、この「ノモの国」でのひと・ココロ・モノ・世界の隔たりを超える体験を通して、α世代の子どもたちが、気づかないうちに縛られている既成概念や様々な制約から解放され、元々子どもたち一人ひとりに秘められている可能性「天分」に気づき、自己肯定感を高めてもらうことで、「いのち輝く未来社会」に向けてワクワクするような希望を抱いてもらえるパビリオンを実現していきます。

今後も、当社は、2025年日本国際博覧会協会と共に、大阪・関西万博の成功に向けてパビリオン出展の準備を進めていきます。

以上